

最近の管内経済概況

(2024年8月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、一進一退ながら弱含みとなっている。

○個人消費は、改善の動きに足踏みがみられる。

○観光は、改善している。

○公共工事は、増加した。

○住宅建設は、低下している。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、弱含んでいる。

○企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2024年10月18日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2024年10月現在)

発表月	2024年5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している(↘)	
生産活動	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退ながら弱含みとなっている(↘)	
個人消費	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	改善の動きに足踏みがみられる(↘)	改善の動きに足踏みがみられる	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	減少した(↘)	増加した(↗)	増加した	減少した(↘)	増加した(↗)	増加した	
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	低下している(↘)	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも減少した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

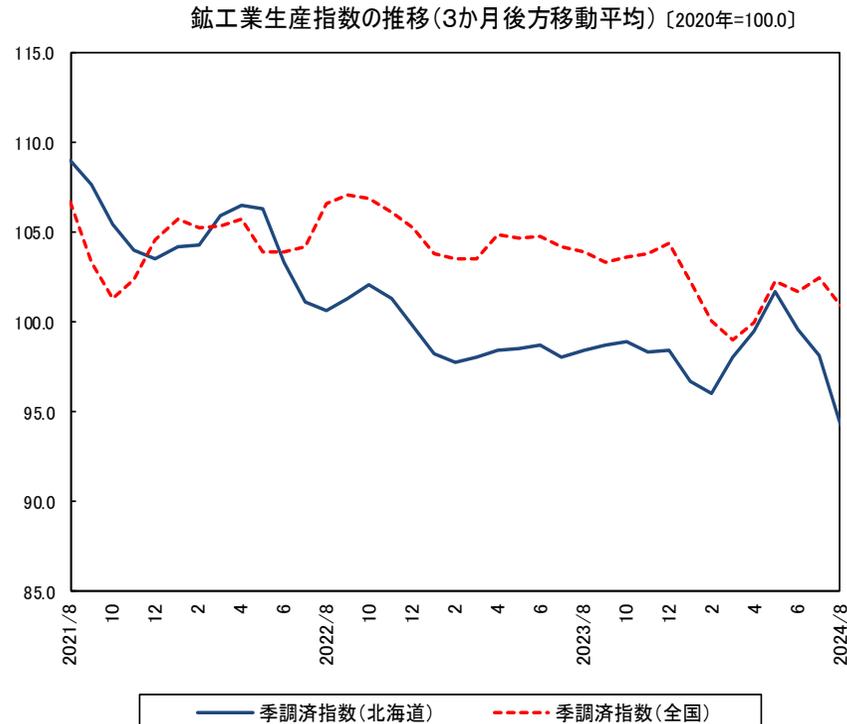
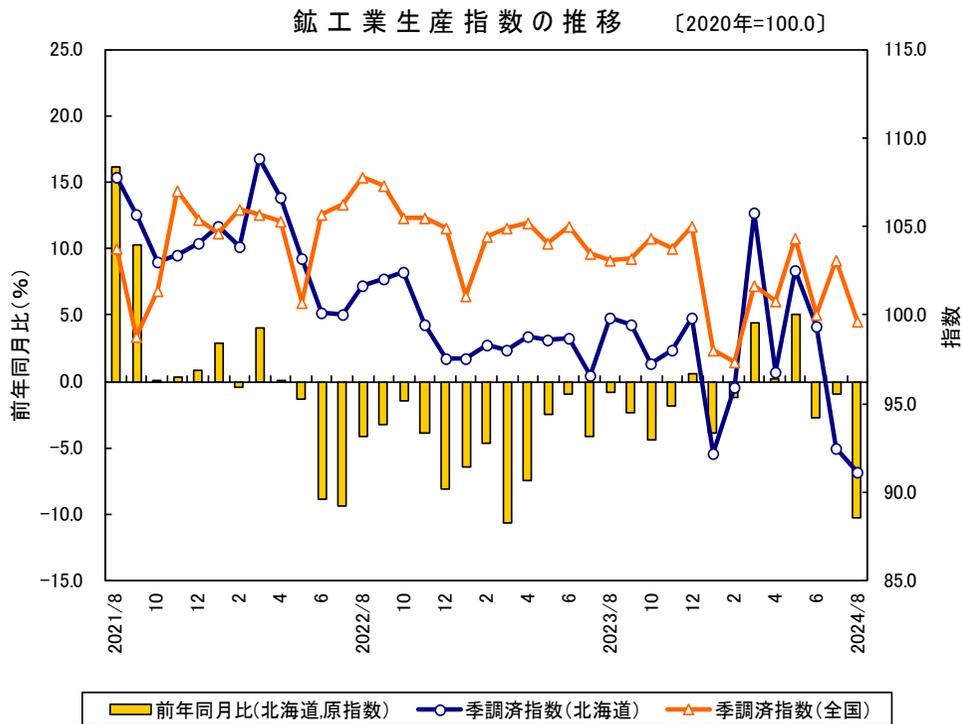
 上方修正  据え置き  下方修正

生産活動 ～一進一退ながら弱含みとなっている～

8月の鉱工業生産は、前月比▲1.5%と3か月連続で低下した。前年同月比は▲10.3%と3か月連続で低下した。低下業種は、窯業・土石製品工業など9業種となった。上昇業種は、鉄鋼・非鉄金属工業など4業種となった。

< 8月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	91.1 (前月比▲ 1.5%)
全 国 (速報)	99.7 (前月比▲ 3.3%)

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 9業種	窯業・土石製品工業	▲ 10.2	▲ 9.3	セメント・同製品
	電気機械工業	▲ 6.8	▲ 9.4	電子部品
	輸送機械工業	▲ 5.5	▲ 10.4	自動車部品
上昇 4業種	鉄鋼・非鉄金属工業	+ 7.1	+ 3.8	鋼材



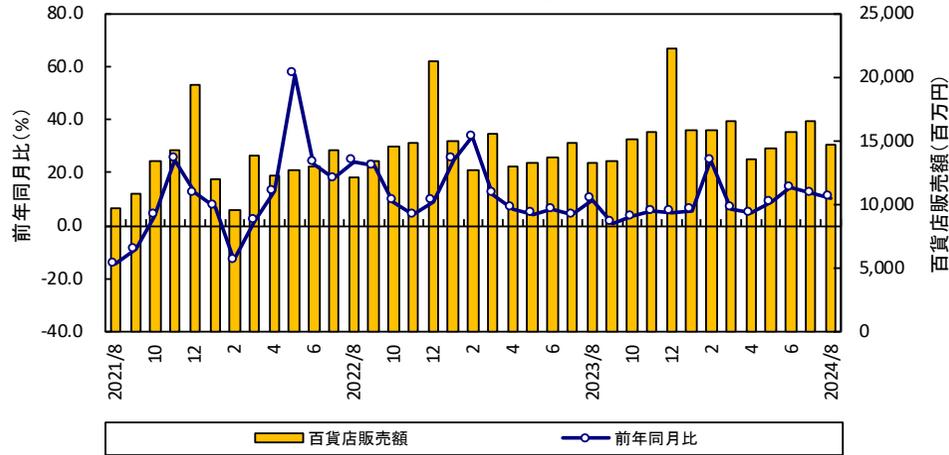
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 改善の動きに足踏みがみられる ～

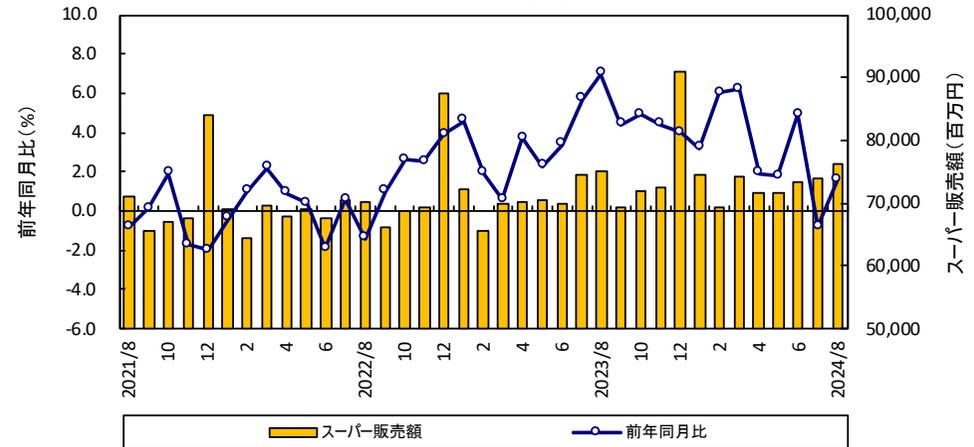
8月の個人消費は、コンビニエンスストア、家電大型専門店、新車販売が前年を下回り、他の4業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品などの売上げが好調で、前年同月比+10.6%と30か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品などの売上げが増加し、同+1.6%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同▲4.2%と2か月連続で前年を下回った。

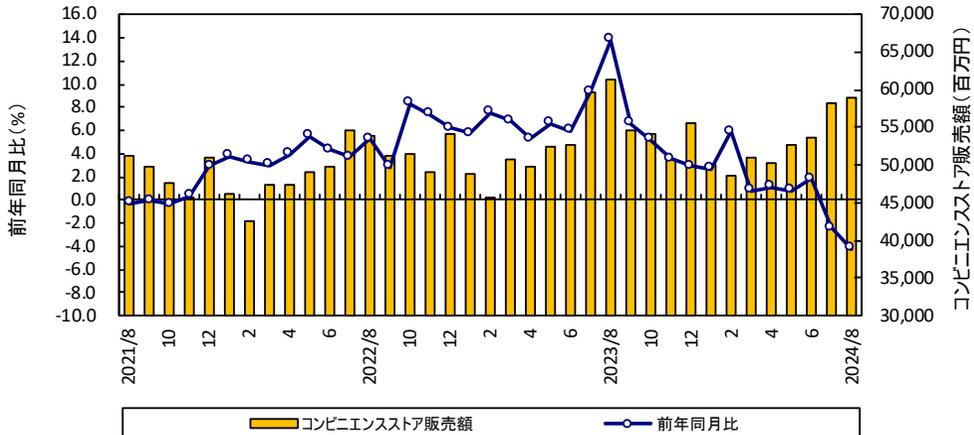
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



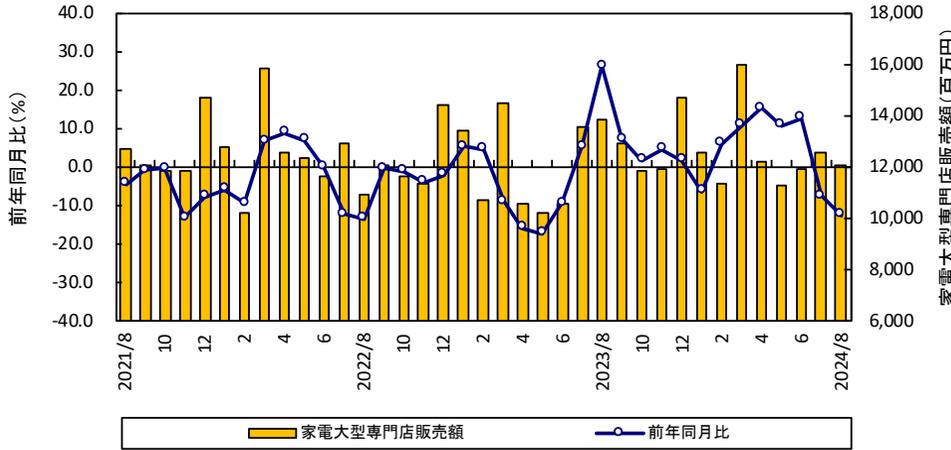
【ヒアリング内容】

- ・高級ブランドの商品や化粧品の売上げがインバウンド向けに好調だった。また、手土産需要から道産銘菓など菓子類の売上げは引き続き好調だった。(百貨店)
- ・需要が高まった米類やパックご飯などの売上げは増加した。また、ディスカウントストアの客数の伸長や低価格帯の商品への移行がみられた。(スーパー)
- ・気温が高い日が続いた前年の反動から飲料などの売上げが伸び悩んだほか、低価格帯の商品への移行がみられ、売上げが前年を下回った。(コンビニエンスストア)

(資料：北海道経済産業局)

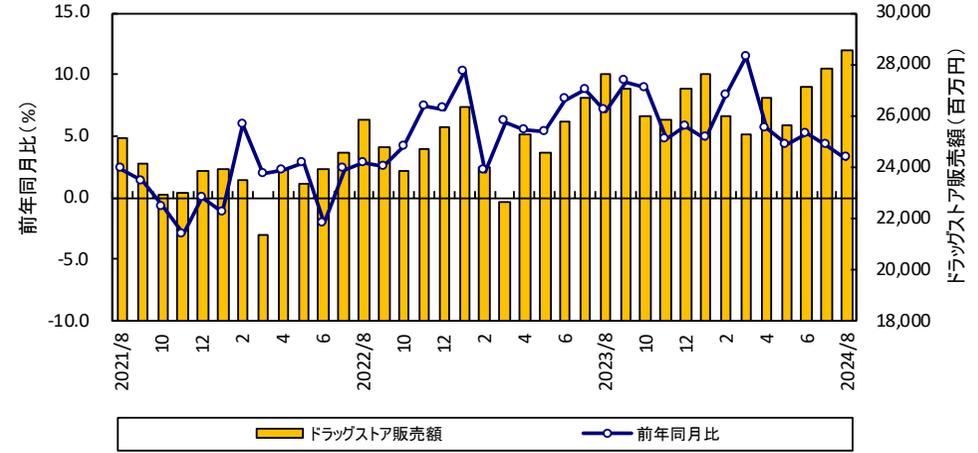
- ・家電大型専門店は、同▲12.6%と2か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+3.2%と26か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+3.3%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲6.4%と2か月ぶりに前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



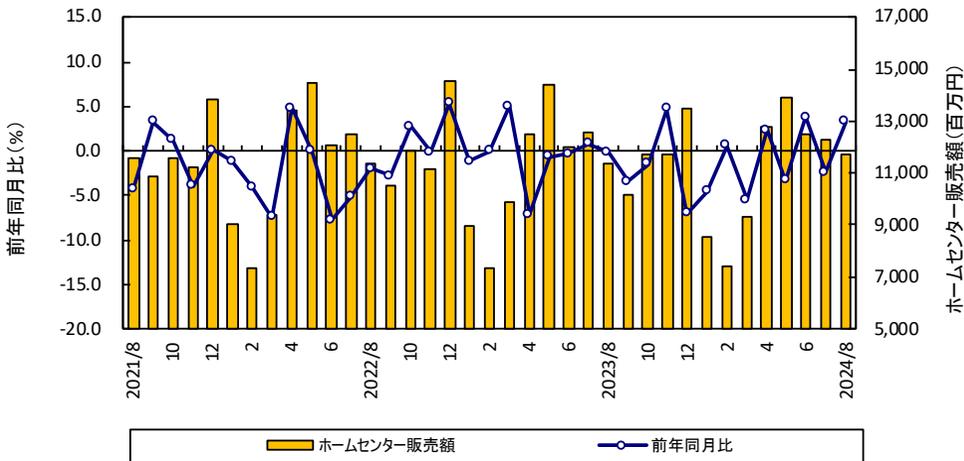
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



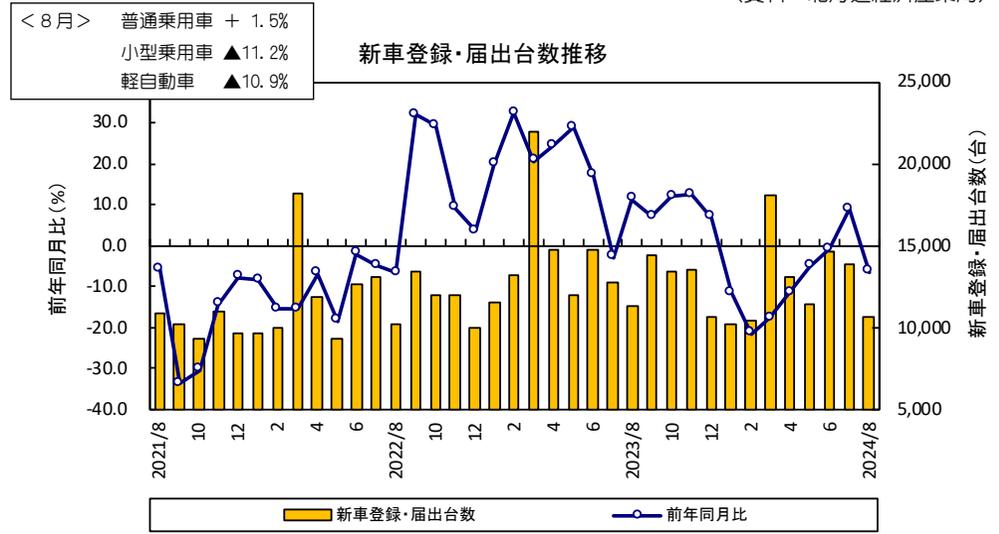
(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

新車登録・届出台数推移



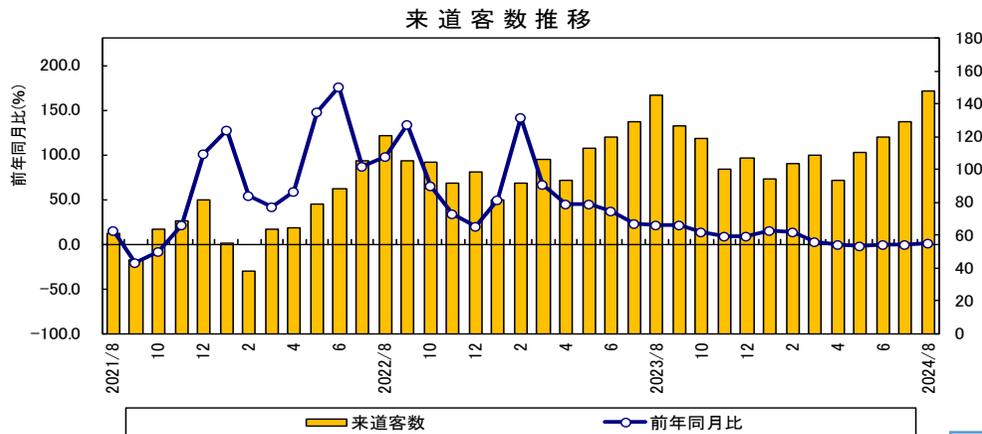
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・売上げをけん引していたエアコンが伸び悩んだほか、多くの商品で買い控えがみられ、売上げが前年を下回った。(家電大型専門店)
- ・アジアンコスメの人気は継続している一方で、高価格帯の化粧品が伸び悩み傾向もみられている。(ドラッグストア)
- ・前年需要が高まり在庫不足となったエアコンは、今年在庫が確保できたこともあり売上げが前年を上回った。一方で、低価格帯の商品への移行や食料品の買い控えなどがみられた。(ホームセンター)

観光 ～改善している～

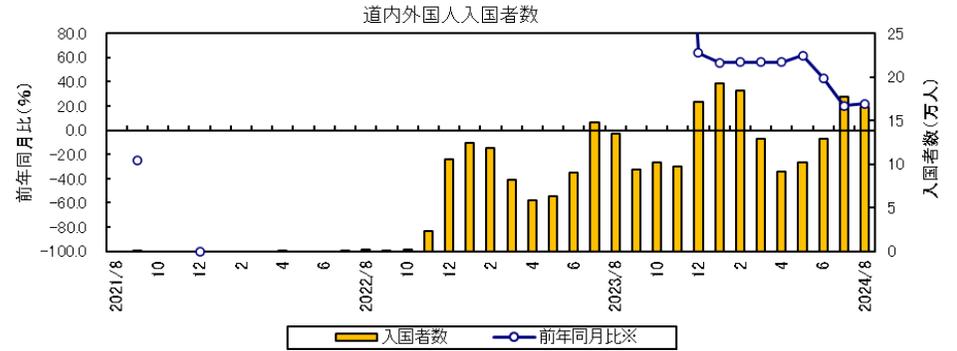
8月の来道客数は、前年同月比+1.6%と2か月ぶりに前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+21.8%と26か月連続で前年を上回った。



< 8月 > 来道客数 1,477,763人 (+1.6%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

< 8月 > 入国者数 164,952人(+21.8%)

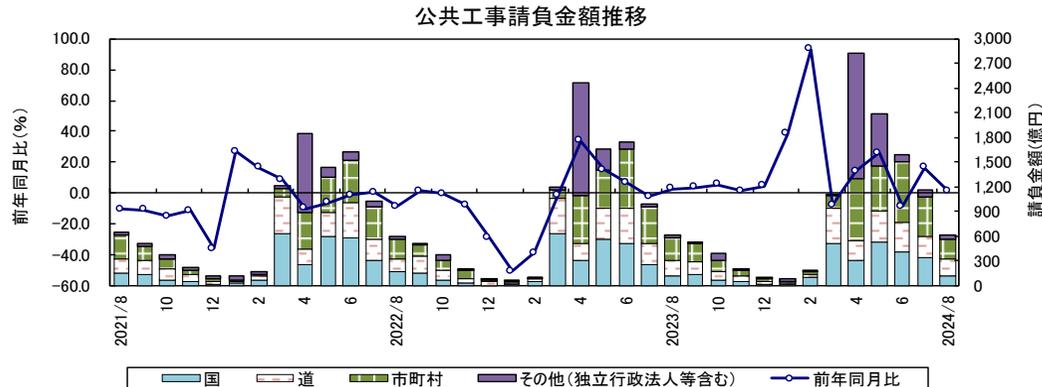


(資料：法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

・8月中旬までは小学生向けのイベントなどを実施し、観光客数は前年同月比で9割程度と想定より好調だった。(観光協会)

公共工事 ～増加した～

8月の公共工事請負金額は、市町村は前年を下回ったが、国、道で前年を上回り、前年同月比+1.5%と2か月連続で前年を上回った。



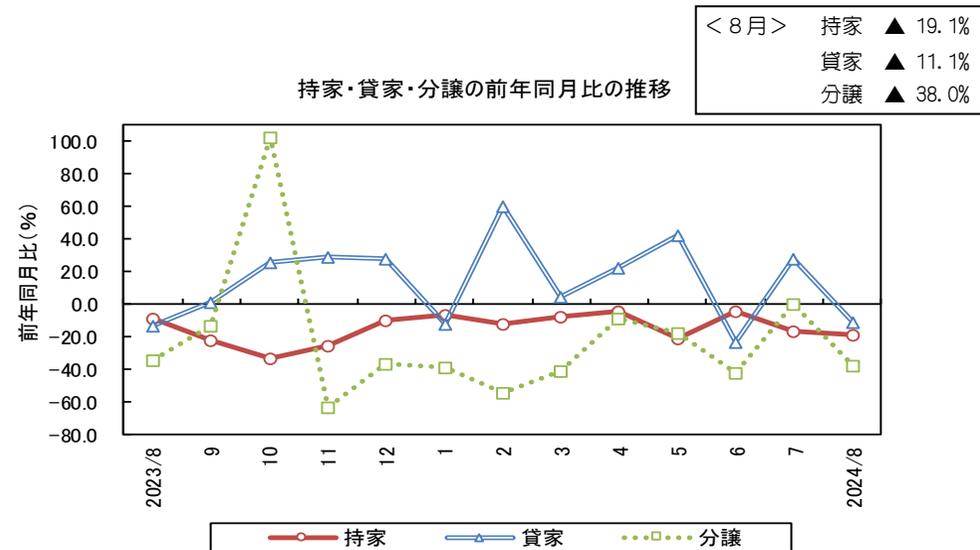
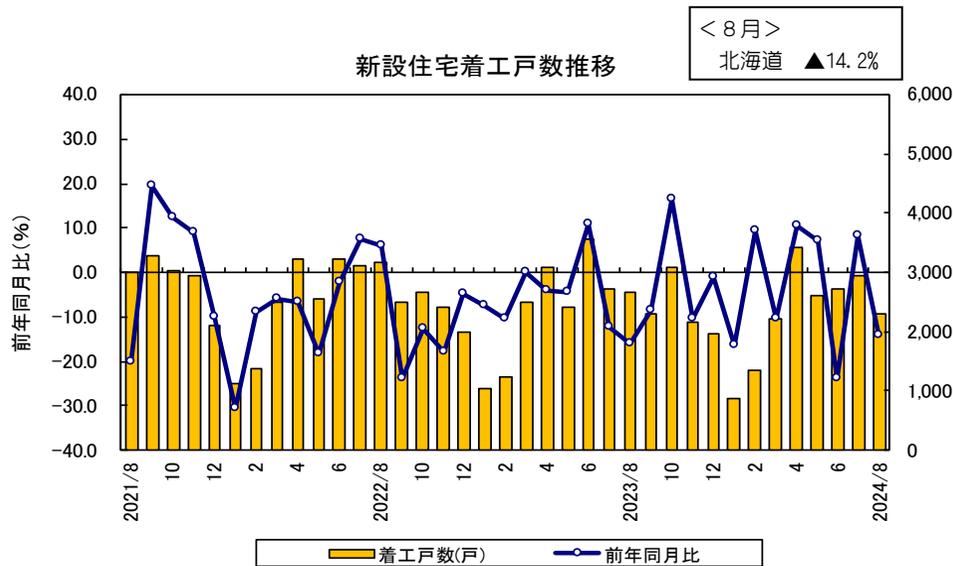
< 8月 >
 北海道 +1.5%
 (内訳)
 国 +0.4% 道 +2.5% 市町村 ▲10.5% その他 +110.6%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ~ 低下している ~

8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲全てで前年を下回り、前年同月比▲14.2%と2か月ぶりに前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ~ 増加している ~

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+22.9%と3年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2024年10月1日発表

	2023年度	2024年度
北海道	+ 3.0%	+ 22.9%
製造業	+ 24.6%	+ 32.4%
非製造業	▲ 4.7%	+ 18.6%
全国	+ 10.6%	+ 8.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年9月12日発表

	2023年度	2024年度
全産業	▲ 13.8%	+ 22.4%
製造業	+ 27.9%	+ 28.0%
非製造業	▲ 23.5%	+ 20.2%

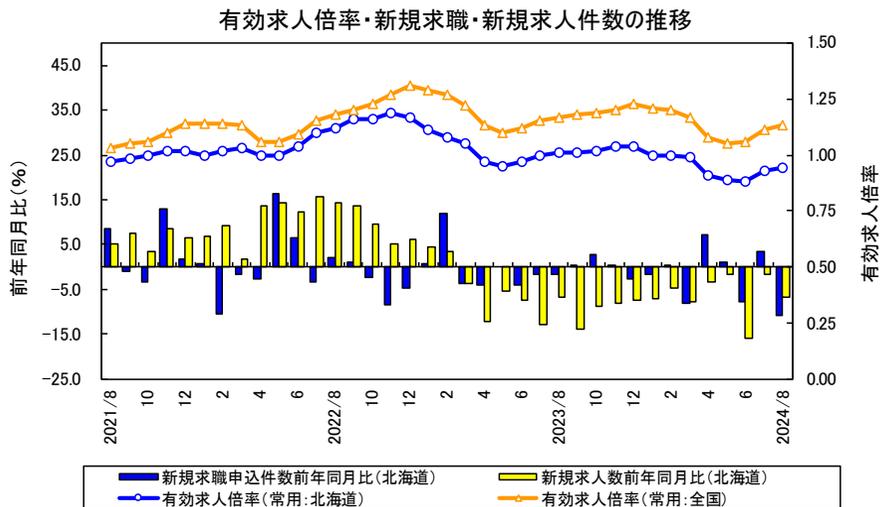
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～弱含んでいる～

8月の有効求人倍率は、0.94倍と前年同月差0.07ポイント低下し、17か月連続で前年を下回った。

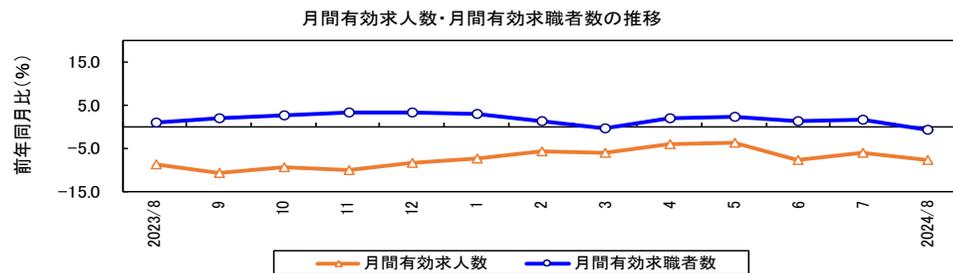


< 8月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.94倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲6.7%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲10.9%
全国	有効求人倍率(常用)	1.13倍

< 8月 >

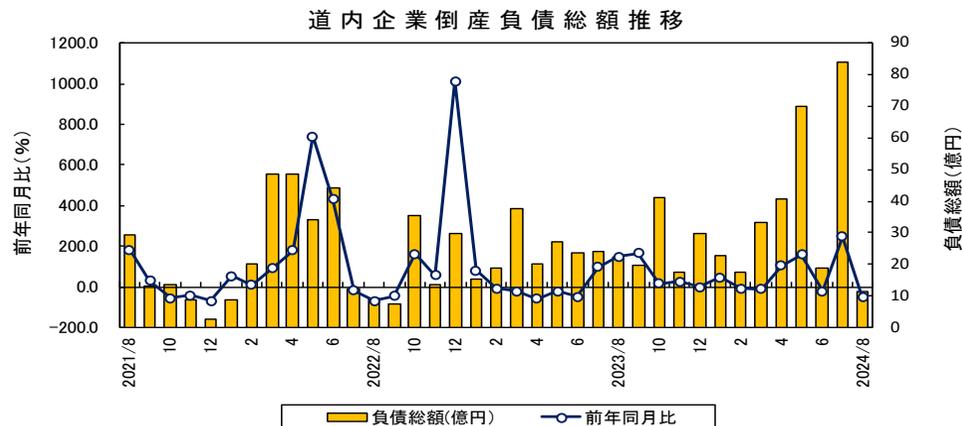
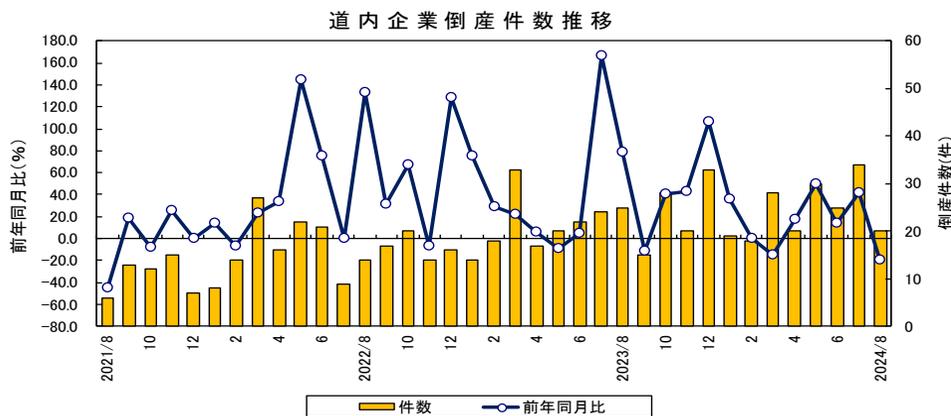
月間有効求人件数(前年同月比)	▲7.8%
月間有効求職者数(前年同月比)	▲0.6%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～件数、負債総額とも減少した～

8月の倒産件数は20件で、前年同月比▲20.0%（5件減）と5か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は11.2億円で、同▲50.1%と2か月ぶりに前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)